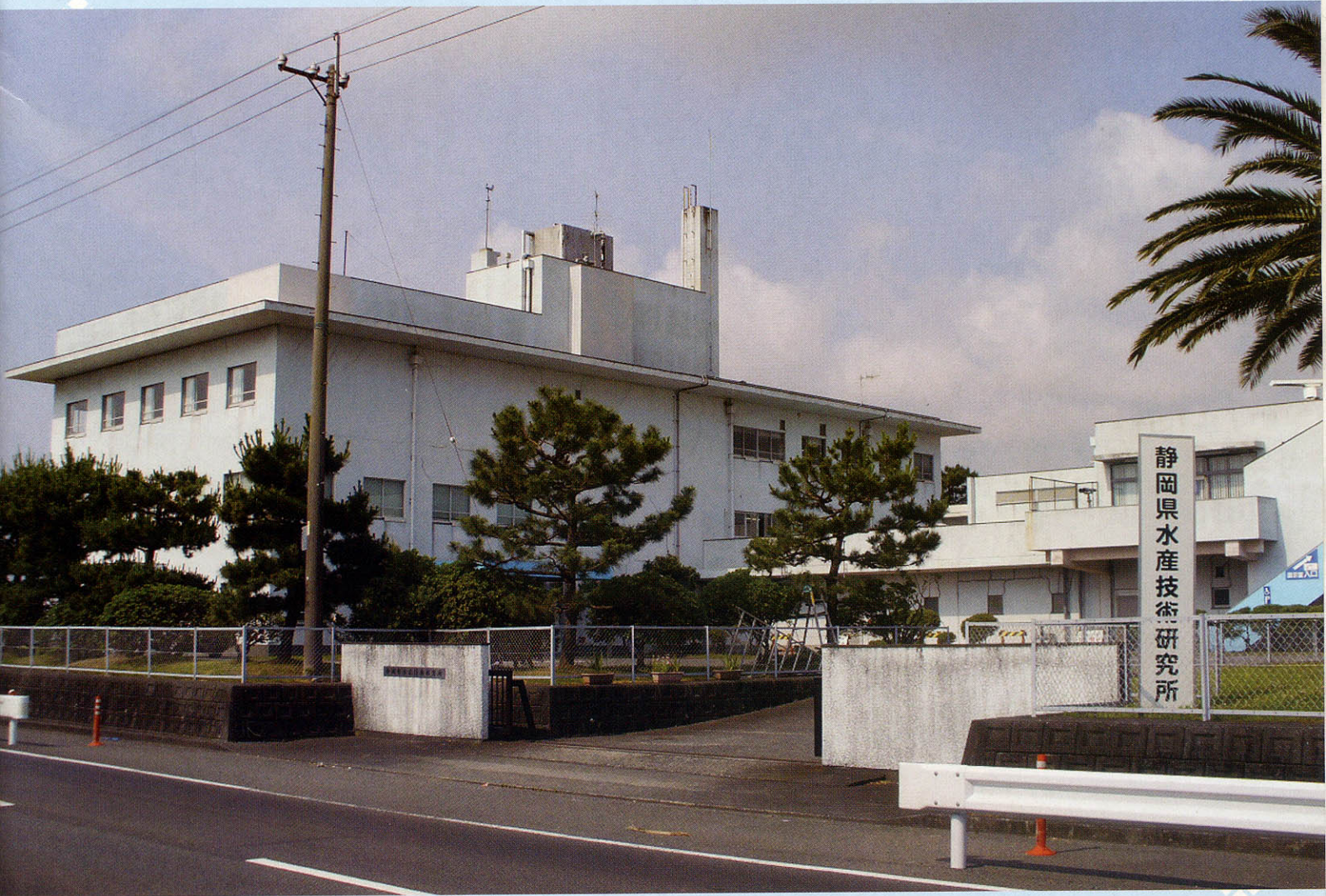


要覧



静岡県水産技術研究所
Shizuoka Prefectural Research Institute of Fishery

沿 革

水産技術研究所の前身である水産試験場は、本県の漁業の振興を図るため、明治 36 年度に浜名郡新居町に養殖部門を中心とした試験場として発足しました。明治 38 年に安倍郡清水町（現在の静岡市清水区）に漁撈部が、翌 39 年には製造部が新たに設けられ水産試験場としての礎が築かれました。大正 9 年には漁撈、製造、養殖に関するすべての試験研究を清水市（当時）にあった施設で行うようになり、以後、水産試験場本場として多くの成果を挙げてきました。昭和 46 年 7 月には焼津市に移転し、平成 19 年 4 月に水産技術研究所として再スタートを切りました。この間、各地に分場が建設され、調査指導船も建造されましたが、その経過は次のとおりです。

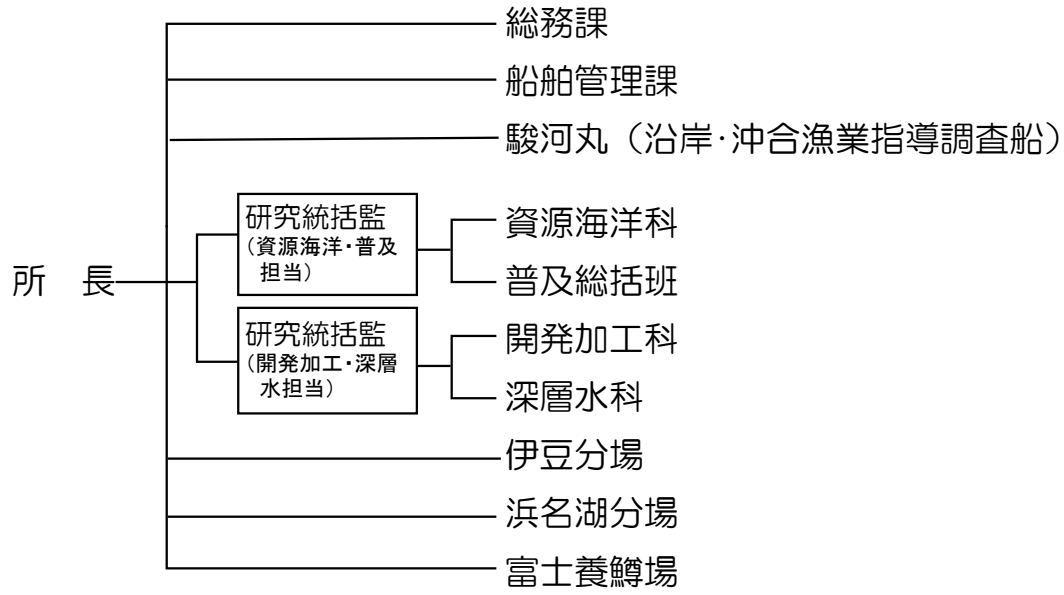
（分場等）

- 昭和 4 年 11 月 伊東分場竣工
 - 9 年 1 月 浜名湖分場竣工
 - 11 年 12 月 富士養鱒場竣工
 - 32 年 5 月 伊豆分場竣工
 - 55 年 3 月 魚病センターを浜名湖分場内に併設
- 平成 11 年 3 月 伊東分場廃止
 - 16 年 3 月 駿河湾深層水水産利用施設を本場に併設

（調査指導船）

- 明治 39 年 4 月 第 1 世富士丸（25 トン）就航
- 昭和 32 年 10 月 第 1 世駿河丸（59 トン）就航（現在第 4 世 134 トン）
- 平成 22 年 3 月 第 7 世富士丸（311 トン）廃船

組 織



施設の概要

(本所)

敷地	7,038 m ²		
建物	本館	鉄筋コンクリート造 3階塔屋部 4階建	延床面積 2,308 m ²
	展示室	鉄筋コンクリート造 2階建	延床面積 518 m ²
	加工研究センター	鉄筋コンクリート造 一部2階建	延床面積 578 m ²
	別棟(車庫・船舶用倉庫)	鉄骨造	延床面積 324 m ²
主な施設	展示施設、漁海況情報室、化学実験室、機器分析室、微生物実験室、加工室 等		

	敷地	建物 (延床面積)	主な施設
駿河湾深層水水産利用施設	7,507 m ²	2,430 m ²	管理棟、機械棟、飼育棟、屋外水槽 等

(分場)

	敷地	建物 (延床面積)	主な施設
伊豆分場	3,702 m ²	1,708 m ²	飼育実験室、化学実験室、標本展示室、飼育池 等
浜名湖分場	14,016 m ²	4,761 m ²	病理研究室、生物実験室、化学実験室、飼育池 等
富士養鱒場	56,519 m ²	2,192 m ²	生物工学研究棟、生物学水槽実験棟、免疫工学研究棟、孵化場、飼育池 等



駿河湾深層水水産利用施設



富士養鱒場

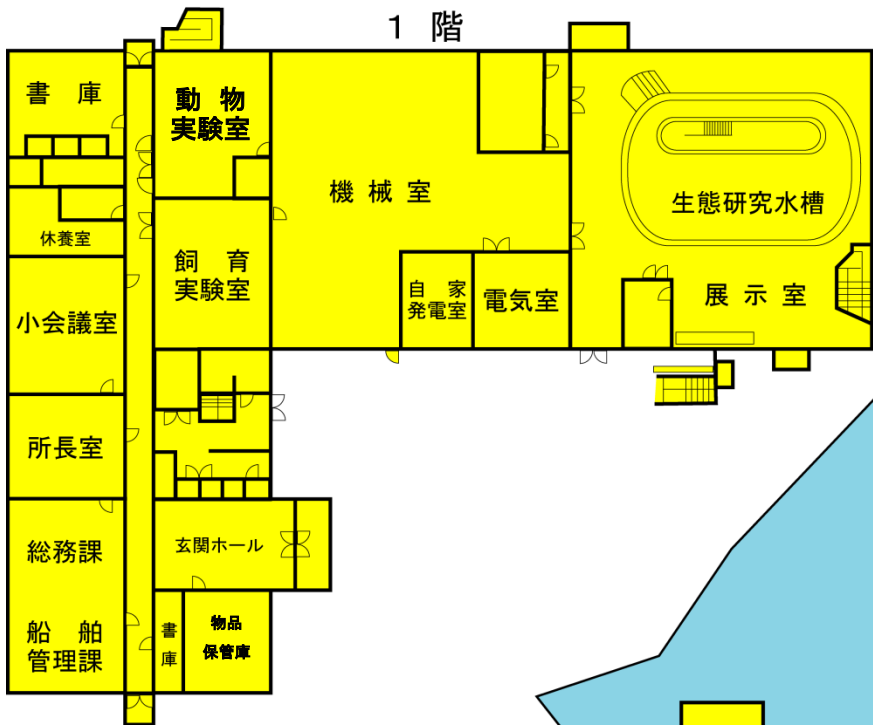


伊豆分場

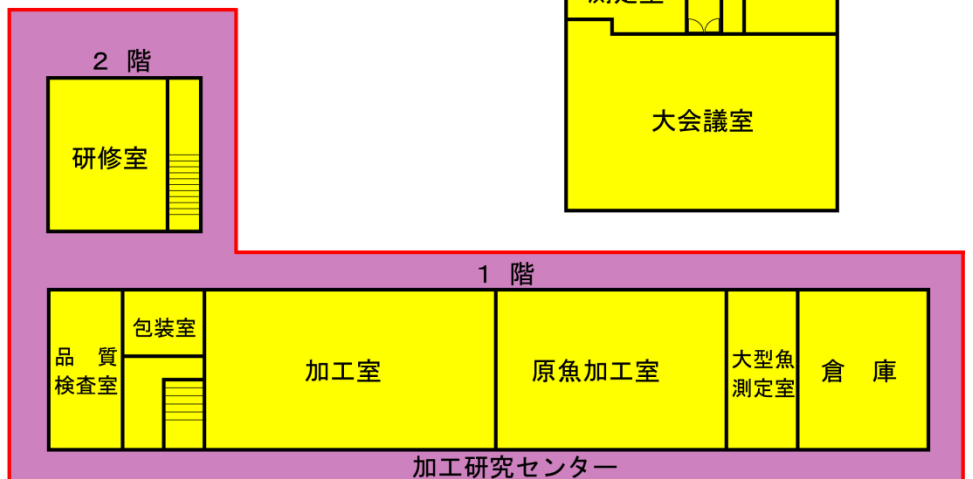
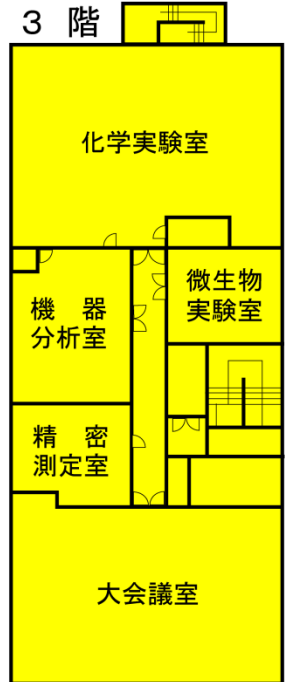
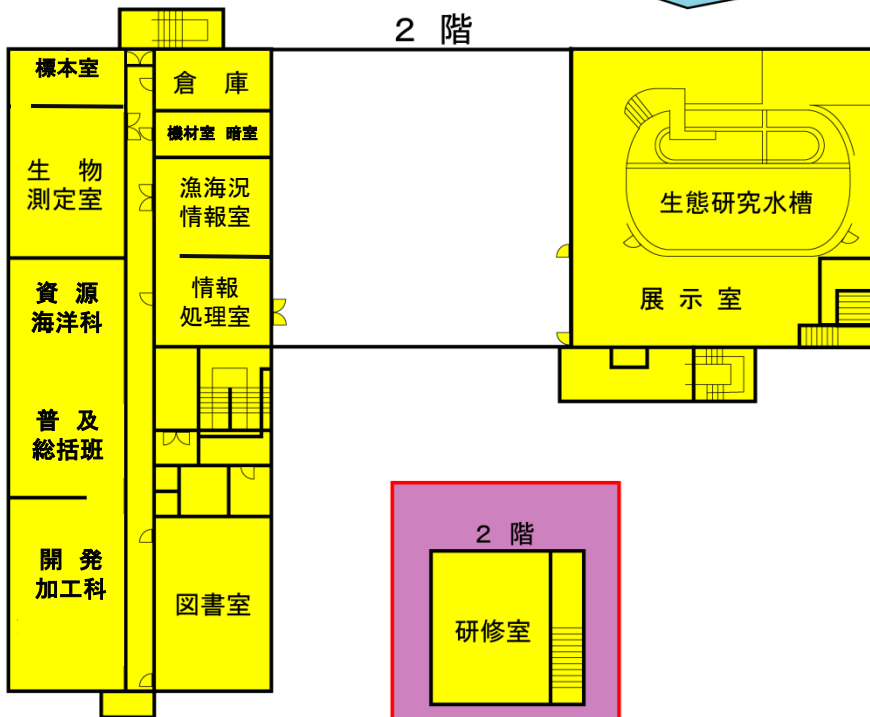
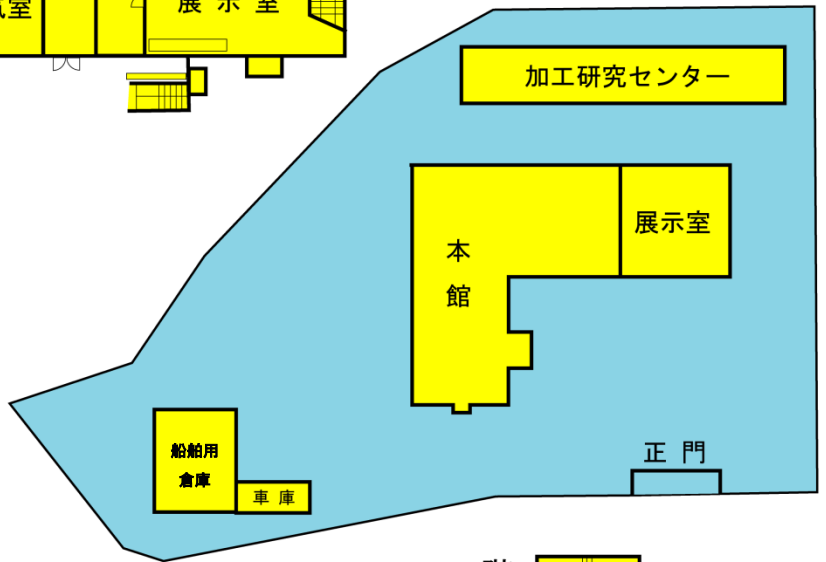


浜名湖分場

平面図



本所の配置図



10 m
縮尺

業務の概要

【本 所】

総務課	水産技術研究所の人事、予算、決算、経理、財産管理、物品出納等に関すること
船舶管理課	漁業指導調査船（駿河丸）の管理運営に関すること
駿河丸	サバ、サクラエビ、シラス等の資源とその漁業に関する調査指導 沖合及び沿岸域の卵稚仔採集と地先定線の海洋観測
資源海洋科	カツオ、マグロ等遠洋資源と漁業に関する調査研究 サバ、イワシ類、サクラエビ等近海資源とその漁業に関する研究 漁獲可能量（TAC）と漁業の管理方式に関する調査研究 駿河湾と遠州灘の海洋環境、漁海況予測に関する調査研究
普及総括班	水産業に関する技術普及、情報発信 漁業士及び漁業者グループの活動支援と漁業後継者の育成 6次産業化の支援
開発加工科	漁獲から保蔵、流通、消費に至る水産物の鮮度保持技術開発研究・指導 漁獲物の付加価値の増大と消費者のニーズに対応するための新製品開発 県内加工製品の衛生管理向上に関する研究・指導 水産物等に含まれる健康機能成分や未利用成分の特性把握と利用研究・指導 試験研究の企画調整
深層水科	大型藻類の種苗培養に関する研究 魚類の養成技術開発に関する研究
加工研究センター	官民共同で開発研究を行う開放型の共同利用研究施設

【伊豆分場】

イセエビ、アワビ等岩礁性浅海資源の増殖研究・普及指導
藻場の機能や造成に関する研究
栽培漁業に関する研究
定置網漁業、キンメダイ漁業等の資源管理及び経営改善研究・普及指導
6次産業化の支援

【浜名湖分場】

ウナギ種苗生産技術開発研究
ウナギ、アユ、コイ等の淡水養殖における魚病対策等の研究・普及指導
アサリ、クルマエビ等の湖内重要魚介類の生産増大に関する研究・普及指導
トラフグの栽培漁業に関する研究・普及指導
浜名湖の漁場環境に関する調査研究
6次産業化の支援

【富士養鱒場】

ニジマス等サケ科魚類の餌料、魚病対策、育種など養殖技術に関する研究・普及指導
マアジ、マダイ等の海面養殖及び養殖漁場環境に関する調査・普及指導
サケ科魚類養殖へのバイオテクノロジー等先端技術導入の研究
アユを中心とした河川漁業に関する研究
6次産業化の支援

【新成長戦略研究】

未利用魚の活用による新水産業創出(担当：開発加工科・資源海洋科・普及総括班)
新たなウナギ産業の創出(担当：浜名湖分場・開発加工科・富士養鱒場)
大型ニジマスの低コスト生産技術の開発と販売戦略の推進(担当：富士養鱒場・深層水科)

◎沿岸・沖合漁業指導調査船(駿河丸)



建造年月日	平成7年3月16日
総トン数	134トン
全長	34.11m
幅	6.60m
深さ	3.10m
主機関	1,200ps
航海速度	11.0ノット
定員	20名

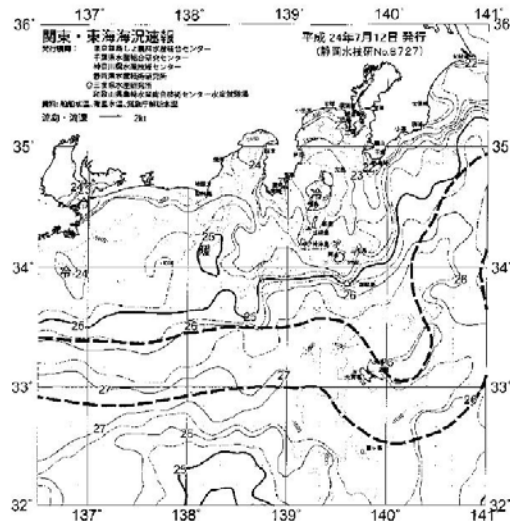
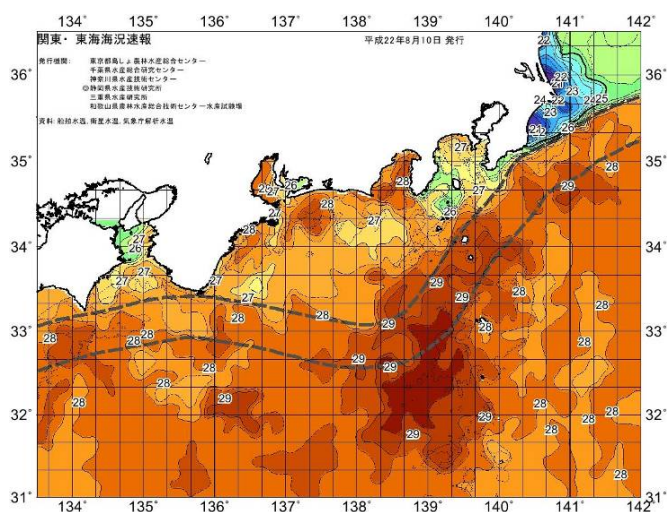
◎展示室



◎調査、研究、普及事業

○関東・東海海況速報 HP 版(毎日掲載)

○関東・東海海況速報 FAX 版(毎日発行)



○沿岸資源調査



○近海資源魚類測定



○化学分析



○製造試験



○重要魚類の養成



○大型藻類の培養試験



静岡県水産技術研究所



◎静岡県水産技術研究所 (本所)

〒425-0033
 焼津市小川 3690
 電話 054-627-1815
 FAX 054-627-3084
 054-629-7350

●駿河湾深層水水産利用施設
 〒425-0032
 焼津市鰯ヶ島 136-24
 電話 054-620-8911
 Fax 054-629-1255

●伊豆分場

〒415-0012
 下田市白浜 251-1
 電話 0558-22-0835
 FAX 0558-22-9330

●浜名湖分場

〒431-0214
 浜松市西区舞阪町弁天島 5005-1
 電話 053-592-0139
 FAX 053-592-0906

●富士養鱒場

〒418-0108
 富士宮市猪之頭 579-2
 電話 0544-52-0311
 FAX 0544-52-0312



静岡県水産技術研究所 URL
<http://fish-exp.pref.shizuoka.jp>

NOAA衛星画像 (携帯) URL
<http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>

関東・東海海況速報 FAX サービス
 054-629-7350 (ポーリング送信)
 パスワード: 0000